

大学院教育改革支援プログラム
「メディカルバイオエレクトロニクス教育拠点」特別講演会

演題 非平衡下で賢く機能する生体分子モーター

講師 樋口 秀男 教授

東京大学 大学院理学系研究科 物理学専攻

講演要旨

生命は時々刻々環境を変えており、タンパク質は必然的に非平衡下でかつ多様な環境で機能を発揮している。例えば、受精した細胞は分裂と分化の結果約2ヶ月でほぼ人間の機能を獲得する。非平衡下でかつ多様な環境で機能を発揮しているタンパク質の機能を解明することは、生命を理解するためだけでなく、医療にも役立つであろう。タンパク質の機能を明快に知るための方法として我々は1分子計測を行っている。セミナーでは、運動を行うモータータンパク質に焦点をあて、精製したタンパク質ばかりでなく、細胞やマウス内での1分子の機能も紹介したい。

日時 平成20年12月16日(火) 15:00 ~ 16:30

場所 工学研究科応用物理学専攻大学院講義室
(電子情報システム・応物系1号館7階708号室)

連絡先：工学研究科応用物理学専攻
准教授 佐々木 一夫

Tel & Fax: 022-795-7954

Email: sasaki@camp.apph.tohoku.ac.jp